

## ・教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

慈恵の看護専門学校は社会のニーズに応じて医療施設のみならず在宅および保健医療福祉分野に貢献できる専門職を育成している。

教育課程は、教育理念、教育目標、卒業時の到達目標（ディプロマ・ポリシー）に基づいて、「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」で構成する。

- 1) 基礎分野と専門基礎分野は、専門領域を学ぶ上で土台となる。専門領域の基礎看護学を核とし、あらゆる対象、健康の段階、療養の場の看護を展開でき3年間で修得すべき能力を養う為に必要な学習の順序性を考え、さらに看護基礎教育と卒後教育の橋渡しとなるようカリキュラムを構成し、配置する。
- 2) 低学年時からグループ討論、演習、実習を多く取り入れ、反復と応用、体験を繰り返せるような組み合わせで配置する。
- 3) アクティブラーニング、シミュレーション学習、ロールプレイ学習など、知識だけでなく体験を通して学べるような教育方法を積極的に取り入れる。
- 4) 日常的な体験を通して、さまざまな人々と人間関係を形成するコミュニケーション能力を養えるような機会を提供する。
- 5) 豊かな人間性と、人に対する関心と思いやりをもち、誠実で良識ある行動ができるよう教科内に留まらず、学校生活のすべての場面を学びの機会とする。
- 6) 科目目標の達成度は、多様な評価方法を用いて総合的に評価する。

## ・入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

慈恵の看護専門学校は、卒業時の到達目標を達成できる学生として、入学時には次のような人材を望んでいる。

- 1) 慈恵の精神に共感し、看護実践に取り組む意欲がある人
- 2) 目標に向かって自ら学び続けることができる人
- 3) 他者の意見を聞き、自分の意見を伝えて信頼関係を作ることができる人
- 4) 看護を学ぶために必要な基礎学力を持ち学習することができる人
- 5) 人に対する関心と思いやりがもてる人
- 6) 誠実で良識ある行動ができる人

## ・主な教育・研究の概要

第64回 成医会柏支部

慈恵大学 8 施設協働 新人看護師・助産師移行期支援プロジェクト

看護管理者・看護教員を対象としたアンケート 結果

高橋衣、中尾みさ子、佐藤紀子、高橋則子、玉上淳子、福田美和子、山下真裕子、小嶋順子、鈴木由香、朝倉真奈美、高橋明子、和田美恵、佐藤千恵子、那須詠子、高橋真喜

## 8) 卒後臨床研修

### 1. 臨床研修

- 1) 2021年度臨床研修医として、医科82名（本学卒55名、他学卒27名）、歯科3名の合計85名が採用され、2021年4月1日より研修を開始した。

附属4病院の採用数の内訳は以下の通りである。

本院	30名	内訳：本学卒6名、他学卒24名（歯科3名を含む） 定員：一般31名、小児2名、産科2名、歯科3名（計38名）
葛飾医療センター	11名	内訳：本学卒11名、他学卒0名 定員：一般11名
第三病院	19名	内訳：本学卒16名、他学卒3名 定員：一般18名、小児2名、産科2名（計22名）

- 柏病院 25名 内訳：本学卒22名、他学卒3名  
定員：一般22名、小児2名、産科2名、総合2名（計28名）
- 2) 2022年度臨床研修医（医科）の採用試験を2021年7月24日（土）および8月14日（土）に実施した。4機関合計の募集定員は93名（対前年度マイナス3）であった。内訳は以下の通り。本院：36名（一般31名、小児2名、産科2名、基礎1名）、葛飾医療センター：11名、第三病院：22名（一般18名、小児2名、産科2名）、柏病院：24名（一般18名、小児2名、産科2名、総合2名）。
- ・2022年度より、新たな研修プログラムとして「基礎研究医プログラム」が設置された（定員1名）。このプログラムは、基礎医学に意欲があり、基礎医学系の大学院に入学する医師を対象とした臨床研修と基礎医学を両立するための研修プログラムであり、プログラム修了者には魅力あるキャリアパスを複数提示している。
  - ・2022年度採用試験についてもCOVID-19感染対策の観点から、前年度同様、eラーニング、WEB面接を活用し実施した。試験の実施に関して、大きな問題は生じなかった。
  - ・2018年度（平成30年度）採用試験より、優秀な臨床研修医を採用するため、応募書類にCBT成績表の提出、採用試験に医療面接（OSCE）を導入するなど厳格な採用試験を導入した。また、2022年度採用より、採用基準としてCBT成績（IRT値）を適用することとした。
- 3) 2022年度臨床研修医（基礎研究医プログラム）の採用試験を2021年5月8日（土）に本院にて実施した。定員1名のところ、1名のマッチング登録があった。
- 4) 2022年度臨床研修医（歯科）の採用試験を2021年9月4日（土）に本院にて実施した。定員3名のところ、12名のマッチング登録があった。
- 5) 2022年度採用予定者の大学における卒業試験および医師・歯科医師国家試験の結果により、臨床研修医採用数は医科82名（本学卒55名、他学卒27名）、歯科3名となった。附属4病院別の採用数は以下の通りである。
- |          |     |  |
|----------|-----|--|
| 本院       | 38名 | 内訳：本学卒7名、他学卒31名（歯科2名を含む）<br>定員：一般31名、小児2名、産科2名、基礎1名、歯科3名（計39名） |
| 葛飾医療センター | 11名 | 内訳：本学卒11名、他学卒0名<br>定員：一般11名                                    |
| 第三病院     | 19名 | 内訳：本学卒16名、他学卒3名<br>定員：一般18名、小児2名、産科2名（計22名）                    |
| 柏病院      | 25名 | 内訳：本学卒22名、他学卒3名<br>定員：一般22名、小児2名、産科2名、総合2名（計28名）               |
- 5) 第18回研修指導医講習会を2022年1月14日（金）、15日（土）の2日間にわたって開催し、47名が受講を修了した。なお、本講習会は、厚生労働省の開催指針に基づき開催し、修了者には厚生労働大臣名および附属病院長名による修了証を授与した。
- 6) 他大学医学科生向けの病院説明会を以下の通り開催した。
- 1回目：2021年6月5日（土）参加者50名（来場17名、WEB33名）  
2回目：2021年7月3日（土）参加者86名（来場23名、WEB63名）

7) 今年度のCPCを5月から10月にかけて計5回開催した。

開催回	開催日	担当科	臨床診断名
第767回	5月24日(月)	消化器・肝臓内科	アルコール性急性肝不全 HCC疑い、肝梗塞疑い
第768回	6月21日(月)	皮膚科	背部悪性黒色腫
第769回	7月12日(月)	脳神経内科	筋萎縮性側索硬化症
第770回	9月13日(月)	外科	呼吸不全
第771回	10月11日(月)	リウマチ・膠原病内科	皮膚筋炎 急性呼吸促迫症候群

## 2. 専門修得コース(レジデント)

- 2021年度は、レジデント138名〔本学初期臨床研修修了者67名、他施設初期臨床研修修了者71名(うち本学卒26名)]を採用し、各科にて専門修得コースの研修を開始した。
- 2021年度中に専門習得コースを修了した者は129名(リサーチレジデント1名含む)であった。そのうち、休職(産休・育休)等の理由により、年度途中で修了認定されたものは9名であった。
- 専門修得コースの修了要件になっている「レジデントFD」を2回開催した(6月26日、11月27日)。  
やむを得ず受講できなかった医師には、別途補講を実施した。
- 本学を卒業した1年目の臨床研修医を対象とした「親睦・情報交換会」は、COVID-19感染が収束しないため、開催を見合わせた。(2019年度開催、2020年度中止)
- COVID-19感染拡大のため、2020年度は病院見学の受入れを一時ストップしていたが、2021年度は感染対策をしっかりと行ったうえで、一部を除き受入れを再開した。
- 2022年度レジデント(専攻医)の採用試験は、2021年10月30日(土)、11月15日(月)に実施した。感染対策の観点から、小論文はWEBを活用して事前に実施した。また、面接に関しても遠方からの応募者はオンライン(Zoom)で対応した。
- 平成29年度より実施している「レジデント期間中の診療部長評価」を、2021年度も継続実施した。評価結果は、レジデント修了後の正規採用時の判断資料として用いている。評価の低いレジデントがいる診療部には、病院長と診療部長で面接を行い採用の可否を判断した。評価項目は、おもに人間性や診療態度を重点としている。

## 9) 生涯学習センター

- 登録者数：2021年3月現在161名、内港区医師会31名、中央区医師会6名である。
- 利用者数：2021年度は316名である。
- 月例セミナーが下記のとおり開催された。
  - 第257回2021年4月10日(土)
    - 乳腺・甲状腺疾患の診断と治療 田部井 功(乳腺・内分泌外科)
    - 救急室で亡くなった症例を通して内分泌疾患を考える 山城 健二(糖尿病・代謝・内分泌内科)
  - 第258回2021年6月12日(土)
    - 睡眠薬との上手な付き合い方 山寺 亘(精神神経科)
    - 三叉神経痛 渡邊健太郎(脳神経外科)